

事例7：長岡都市圏総合都市交通体系調査
（医療福祉・交通安全面からの交通計画）
（冬期における交通計画）

< 本事例の特徴 >

実態調査

- ・ 医療福祉・交通安全を踏まえた交通計画に関する検討のため、病院アンケート、消防署へのヒアリング等を実施し、救急車両や通院車両の利用状況を把握した。
- ・ 冬期における交通計画検討を目的とし、冬期スクリーンライン調査を実施した。

施策提案

- ・ 高齢者、病院・福祉施設への通院・通所者といった交通弱者に対するモビリティ確保の観点から、ユニバーサル道路の整備、相乗りタクシーやエコマネーによる相乗り等の施策を提案している。
- ・ 冬期における歩行者空間の確保、需給バランスや救急車両への対応といった視点から、歩道除雪や車道除雪の除雪基準格上げを提案している。

施策評価

- ・ 救急車両OD表や通院車OD表を配分し、路線別の通行台数を求めることで、効率的な施策実施路線の抽出を行っている。

(1) 調査の全体構成

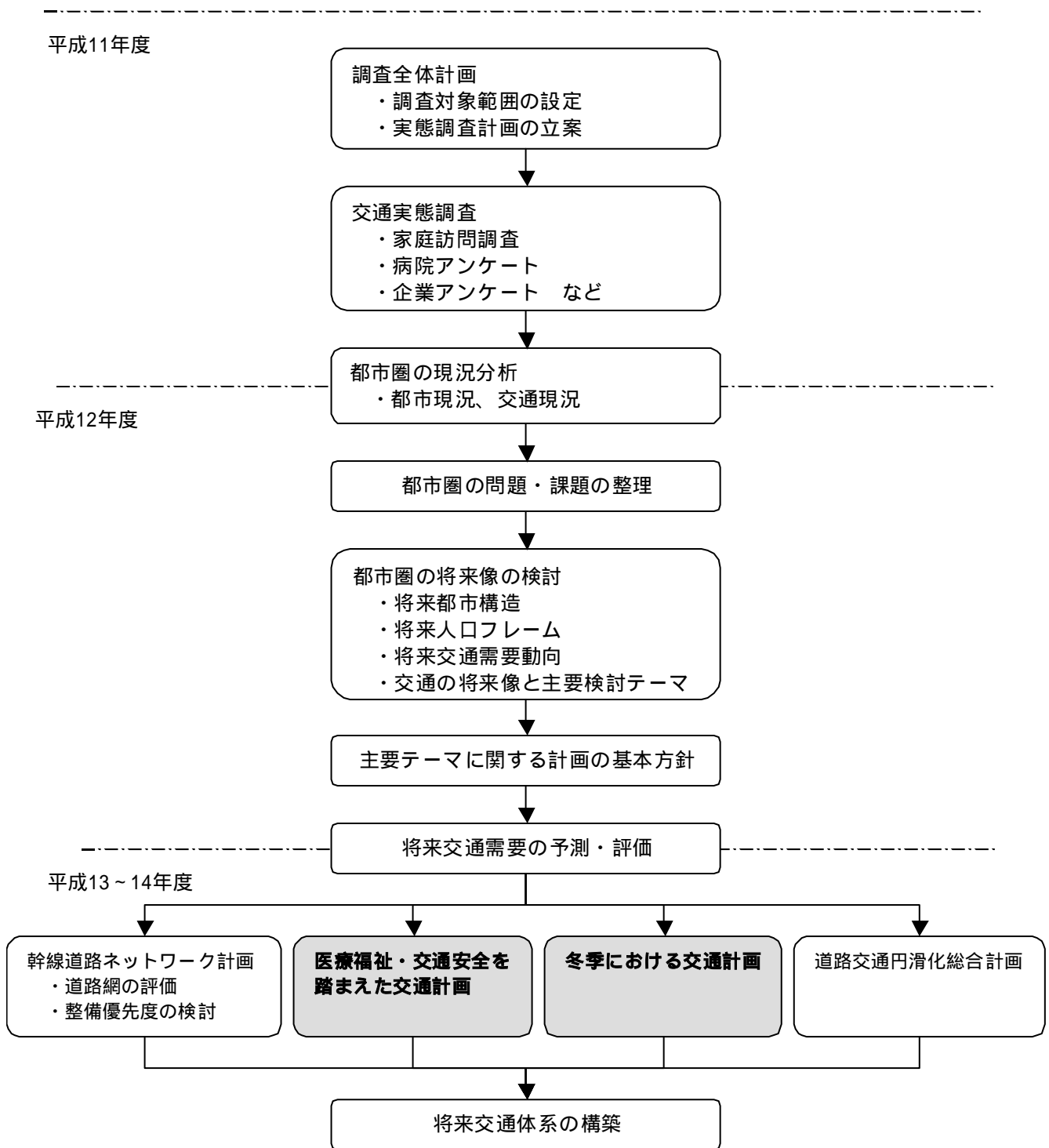


図 調査の全体構成

(2) 実査調査体系

通常の交通実態把握調査に加え、救急車両や通院者流動の把握を目的とした病院アンケート調査や病院・消防署へのヒアリング、冬期の交通利用実態把握を目的とした冬期スクリーン調査を実施している。

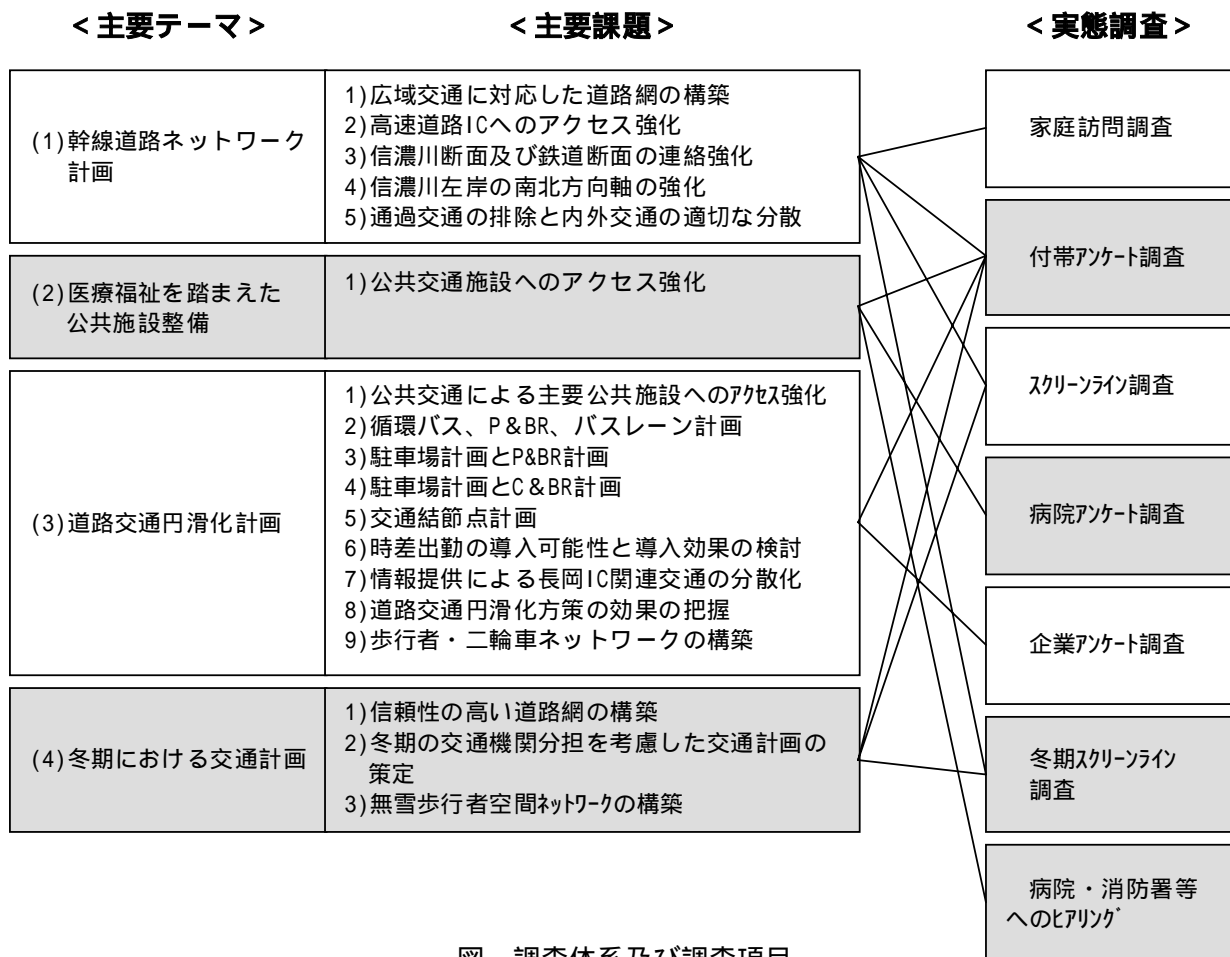


図 調査体系及び調査項目

(3) 現況分析

1) 医療福祉・交通安全面に関する現況分析例

< 病院アンケート結果 >

性別年代別交通手段

- ・ 全体では 80%程度が自動車利用（運転及び送迎）である。
- ・ 60 歳以上の高齢者では自動車利用の比率が低下し、特に女性でバス利用の比率が 30%程度に上昇する。

居住地別交通手段

- ・ 長岡市外からの来院者の割合は 45%であり、基幹病院としての広域性を示している。
- ・ 長岡市外からの来院者の自動車分担率が高くなっている。

〔3 病院合計〕

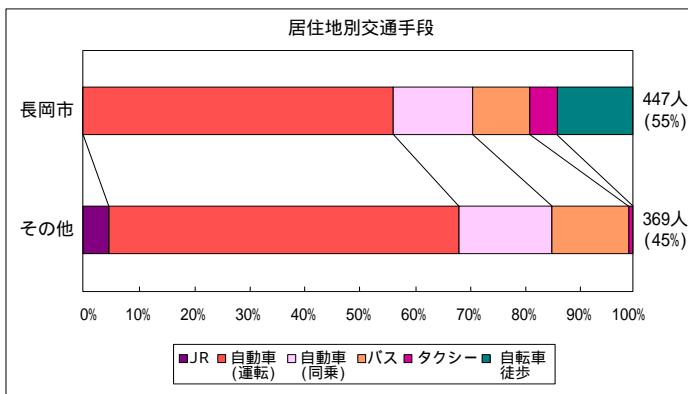


図 居住地別交通手段

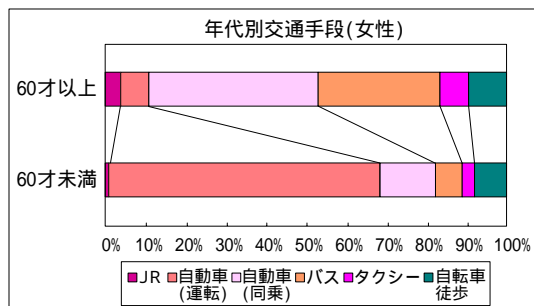
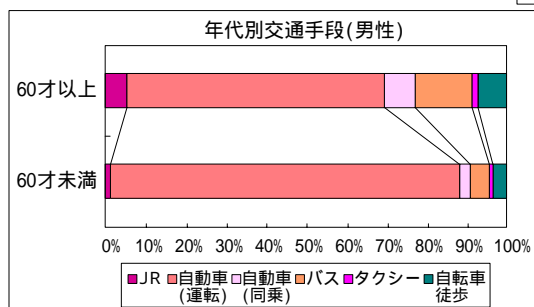


図 性別年代別交通手段

